

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・予約数や来客数が増えてきている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・クリスマス期間の売上が、久しぶりに前年を上回っている。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・電池やバンドの交換が中心とはいえ、人の出入りが多くなるなど、少しは活気のある状態となっている。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・すべての分野で客単価の上昇がみられ、クリスマスのギフト売上も例年を上回っている。絆が今年のキーワードとなっているが、家族での来店も目立つ。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・気温が下がったことで、冬物衣料の動きが良くなっている。来客数は前年を少し下回っているが、高額品が好調を維持していることで、売上や客単価は前年を上回っている。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・気温が低下したこともあるが、クリスマスなどは客が購買意欲ももって来店する傾向がみられる。また、高額品の動きも良くなっている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今までは富裕客が高級時計や美術品などの購入を我慢してきたが、今月になって購入する動きが増えている。
		百貨店（外商担当）	来客数の動き	・今月に入って冷え込んできたため、防寒着の動きが良くなっているほか、おせち料理の注文も増えている。来客数が前年よりも増えているなど、景気が少し良くなってきた感がある。
		百貨店（婦人服）	販売量の動き	・決して楽観できる内容ではないが、お歳暮やおせち料理のほか、衣料品の若年層向け先行セールなど、一部の商品が好調となっている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・3か月前の9月は、売上の前年比が7.3%減であったが、今月は3～4%増となっている。ただし、9月は2度の台風の接近、土日を中心とした雨によるマイナスを除けば、実質的には3～4%減であった。今月も、冷え込みの遅れや、クリスマスの日並びによるプラスを除けば前年並みに近いと、実質的には若干良くなった程度にとどまる。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・クリスマスや年末商戦では、家族や友人と過ごすための需要が増えている。おせち料理やクリスマスケーキの予約販売が順調であったほか、年末の間際には、伝統野菜や調味料などの動きも良くなるなど、家庭でおせち料理をつくる動きも増えている。また、年末の天候が穏やかであったこともプラス要因となっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・競合店の出店が一巡したことや、気温の低下や節電の影響もあり、商品の動きや来客数はほぼ順調に回復している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・前月は気温があまり下がらなかったが、今月は季節相応の気候となり、売上にも良い影響が出ている。
		住関連専門店（店長）	単価の動き	・恒例の年末セールでは、まとめ買いや複数買いなど、ここ数年はなかった動きが増えている。
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・今月に入り、忘年会などの予約で連日満席となっているほか、ワインなども高価な物を飲む客が多い。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月前半はまだ厳しい状況であったが、中旬以降、特に年末は前年を上回る来客数となっている。様々なことがあった今年の最後に、家族や大事な人と過ごしたいという意識が感じられる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は新しい集客策の効果が順調に出ているほか、東日本大震災の影響で大口の宴会が減った分、少人数の宴会が増えており、全体的に売上は安定している。
	その他飲食〔コーヒーショップ〕（店長）	来客数の動き	・今月に入って喫茶利用者数は前年並みか、それ以上となっている。客単価は大きく変動しているが、クリスマス期間も含めて利用は回復傾向にある。	
	観光型旅館（団体役員）	来客数の動き	・台風12号の影響でキャンセルが増えていたが、個人客には回復の動きがみられる。	
	旅行代理店（店長）	お客様の様子	・旅行の相談客が増えており、以前よりも予算の幅はあるが、低予算でも旅行に行きたいという客が増えている。	
	通信会社（経営者）	来客数の動き	・新機種の販売開始と連動し、市場が活性化している。	

変わらない	一般小売店〔事務用品〕(経営者)	販売量の動き	・例年であれば、年末から年度末にかけて商品の動きが良くなるが、前年からそのリズムが崩れており、この年末も非常に動きが悪い。
	一般小売店〔精肉〕(管理担当)	販売量の動き	・今月に入り、販売量の変化が激しくなっている。普段は節約し、特別なときにおいしい物を食べる傾向が強まっているため、年末や正月需要は伸びやすくなっている。
	一般小売店〔衣服〕(経営者)	来客数の動き	・冷え込みの遅れによる来客数の減少が、そのまま売上に響いている。
	一般小売店〔野菜〕(店長)	お客様の様子	・12月であるにもかかわらず、飲食店の景気が良くないため、当店の業況も良くない。
	一般小売店〔雑貨〕(店長)	販売量の動き	・タスポの導入や増税による値上げの影響で、売上は一時、タスポ導入前の4分の1にまで落ち込んだ。1年ほど前から徐々に回復し、タスポ導入前の2分の1となったが、その後は売上の回復がみられない。
	一般小売店〔花〕(店長)	お客様の様子	・年末であるが、客の買い控えの動きが止まらない。
	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・天候不順や東日本大震災以降の国内景気の低迷で、販売量などが芳しくない。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・防寒商品の動きが良くなったことで、今月は売上目標が達成できそうである。ただし、これは前月に売れなかった反動であり、前月分を取り戻すまでには至っていない。一方、ファッション関連商品は気温や景気に左右されているほか、不要不急の商品に対する客の目は依然として厳しい。
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・クリスマス関連の需要はますますであったが、防寒商材の動きが今一つである。気温の低下に伴い、例年であればもう少し動くはずであるが、販売量の不振や単価の下落などで伸び悩んでいる。
	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・来客数は前年並みを維持しているが、店舗がリニューアルしたことを考えるとまだまだ厳しい。ただし、おせち料理やクリスマス関連の売上は前年を上回っているため、良いとも悪いともいえない。
	百貨店(企画担当)	お客様の様子	・クリスマス商戦は直前まで盛り上がりには欠けたが、ピークとなった23日からの3連休は、特選ブランドや宝飾品を中心に予想を上回る動きとなっている。
	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・お歳暮商戦のピークとなった今月初旬は、食品の購入が中心であったが、中旬を過ぎてクリスマス商戦が始まると、婦人物を中心に雑貨や宝石関係の受注も目立っている。
	百貨店(サービス担当)	お客様の様子	・おせち料理の予約販売では、従来に比べて和洋中の混ぜた物が好調となっている。クリスマスケーキの売行きはほぼ前年並みであるが、婦人服や紳士服は寒波の影響で冬物が好調となっており、売上全体でも前年の実績を確保できている。
	百貨店(販促担当)	単価の動き	・来客数や購買客数はほぼ前年並みであるが、客単価は前年割れとなり、クリスマスのギフト需要も例年以上に間際が進んでいる。お歳暮の送付件数も減少しているほか、自分へのご褒美としての購入もあまり目立っていない。
	スーパー(経営者)	競争相手の様子	・競合店のチラシが週2回から3回に増えているほか、表示価格も更に下がるなど、競争が激化する厳しい状況が続いている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・気温の低下や寒波の到来で婦人、紳士肌着は堅調な動きとなり、特に機能性下着を核に、肌着の売上は前年比で10%増となっている。手袋やマフラーといった子どもの服飾品も好調で、衣料品の来客数は徐々に前年よりも1%増えている。	
スーパー(店長)	お客様の様子	・前年と同様に、気温の低下で防寒や暖房関連の季節商材が順調に動いている。特に、節電意識の高まりで石油ストーブや石油ファンヒーター、カイロの売行きが大幅に伸びているほか、室内用の衣類やクリスマスケーキ、おせち料理の予約も順調となっている。ただし、エアコンは苦戦が続いているほか、競争の激化で来客数は前年の約96%となっている。	
スーパー(企画担当)	販売量の動き	・売上が前年の96%で推移しており、ここ3か月はほとんど変化がない。	
スーパー(経理担当)	販売量の動き	・今月初旬は今一つであったが、気温の低下に伴って売上が回復している。消費者には年末や正月ぐらいいざいいたくしたいという意識もあり、クリスマスから年末にかけて上向いている。	

スーパー（広報担当）	販売量の動き	・前月に比べると、気温の低下で衣料品や寝具といった季節商材に動きがみられるほか、家電の落ち込み幅も縮小している。ただし、客の購入は必要な物に限られており、価格を意識して買い回りしている感がある。
スーパー（管理担当）	販売量の動き	・年末商戦も苦戦しており、客単価、購買点数共に前年とほぼ同じとなっている。
スーパー（開発担当）	販売量の動き	・今月の売上は前年並みとなっている。
スーパー（販売担当）	お客様の様子	・広告の初日は列に並んでも買い回る動きがみられるが、購入するのは広告の商品だけである。ほかの商品をみることもなくレジへ行くため、全体的に買上点数が伸びない状況となっている。
スーパー（企画）	来客数の動き	・景気は3か月前の悪い状況から変わっていない。石油ストーブなどの節電関連商品は売れているが、デジタル家電などの高額商品は、エコポイント制度の終了や地上デジタル放送への移行完了で大きく悪化したままであり、全体として厳しい状況に変化はない。
スーパー（社員）	単価の動き	・前月から今月にかけて、天候が良く、気温の低い日が続いており、来客数や買上数量は前年を上回っている。ただし、店頭価格が再びやや低下しているため、売上の伸びは大きくない。
コンビニ（店長）	お客様の様子	・不安定な経済状況であるが、ここ数か月は売上や来客数、客の様子に大きな変化はない。
コンビニ（店員）	販売量の動き	・売上全体は前年とほぼ変わらないが、たばこは10%ほど減少している。
コンビニ（広告担当）	お客様の様子	・品ぞろえによる変化はあるが、全体的には大きな変動はない。ただし、今後の増税などの不安から、消費者が支出を抑えている感がある。
衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今月に入って低額商品を中心に売れている。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・エコカー減税の終了が近づいているため、購入に興味を示す客は増加傾向にあるが、販売量に変化はない。
その他専門店【医薬品】（経営者）	来客数の動き	・全体的に暖かい日が多く、カイロや保湿剤の動きが今一つである。チラシやダイレクトメールの頻度にもよるが、今月は前月よりも買上点数や単価は伸びたにもかかわらず、来客数が2%減ったことが売上に響いている。
その他専門店【食品】（経営者）	販売量の動き	・販売量の前年比に変化はない。
その他専門店【宝飾品】（販売担当）	お客様の様子	・催事などで購入希望の客がいても、ローンが承認されなかったり、キャンセルが出たりと、売上につながるケースが増えている。
その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	販売量の動き	・暖かい秋が続いたことで、冬物商材の立ち上げが大きく遅れている。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前年はテレビ番組で紹介された効果で好調となったが、今年はその反動が出ており、いまだに来客数の回復がみられない。
都市型ホテル（支配人）	単価の動き	・来客数に大きな変化はないが、客単価は前年や2～3か月前に比べて低下している。今月はボーナスの支給月であるが、消費には回っていない。
都市型ホテル（総務担当）	単価の動き	・来客数は依然として増加傾向にあるが、水準自体はレストラン、宿泊、宴会の全部門で低迷している。
都市型ホテル（マネージャー）	来客数の動き	・宿泊部門では外国人旅行者が多少は戻りつつあるが、前年ほどではない。また、おせち料理の販売数が予想を下回っているほか、レストランも高価格帯の店舗が苦戦している。
都市型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・夏以降は売上が前年を上回っている。今月も市内でイベントが行われたほか、クリスマスの日並びが良かったため、前年を上回る売上となっている。
旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・年末年始の予約状況は前年を上回っているが、現在の円高水準から考えると、もう少し伸びてもおかしくない状況である。客からも、円高を利用して海外旅行に行きたいが、今年の冬は貯金するといった声が増えている。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・観光のオフシーズンを迎え、入場客数は例年並みで推移している。

	パチンコ店（店員）	来客数の動き	・来客数は安定的に推移しており、増える動きはみられない。
	競艇場（職員）	単価の動き	・来場者数は微増であるが、購買単価は3か月前と同じ水準で推移している。
	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	お客様の様子	・イベントの開催状況やグッズ販売、飲食関係の動きはほぼ横ばいで、これといった変化はないが、総来場者数がやや減少傾向にある。
	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・天候要因を除くと観光客の動きは特に変わらないが、海外からの団体客の戻りが予想以上に遅い。
	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	来客数の動き	・生徒数に大きな変化はない。
	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・新築マンションの売行きは、50戸程度の小規模な物件は完売するケースもあるが、100戸を超える物件は立ち上がりしが好調でも、完売までには時間がかかっている。
	住宅販売会社（総務担当）	お客様の様子	・最近の契約客はじっくりと調べる傾向が強く、安くなるのを待って買うため、成約までの時間が非常に長くなっている。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	お客様の様子	・不動産の取引件数は若干減少している感がある。
	その他住宅〔展示場〕（従業員）	来客数の動き	・住宅展示場の来場者数は前年比で微増となっているが、あまり変化はない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・気候の影響で紅葉の見ごろが今月中旬まで続いたが、観光客は期待したほど増えなかったため、商店街の動きにも活発さが無い。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・12月らしい人の動きもなく、売上も伸びていないため、早仕舞する店が多い。
	商店街（代表者）	競争相手の様子	・近隣のスーパーによる価格競争に商店街はついていけないため、来客数が減少している。
	一般小売店〔食料品〕（管理担当）	販売量の動き	・以前から続いていた特注品の生産が終了したため、仕事量が元に戻っている。
	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・買収によって当チェーンの傘下に入った店舗と競合することになり、来客数が減少している。
	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・市場が飽和状態となり、売上を奪い合う状況が続いている。各店舗とも特売を行う頻度が上がっているため、客単価は低下する傾向が強まっている。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・冬のボーナス支給時期であるが、業績不振で減額となった客もみられるなど、景気は厳しい状況である。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・エコカー減税の継続方針が出され、エコカーの販売は伸びているが、全体量が増えていない。
	乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・エコカー補助金が閣議決定されたことで、第4次補正予算が成立するまで購入を見合わせる客が増えている。
	乗用車販売店（営業企画）	単価の動き	・自動車市場では需要と供給のバランスが崩れ、供給過多になりつつある。
	乗用車販売店（営業担当）	それ以外	・中古車の相場低下で下取価格が下がっているため、新車の販売にも悪影響が出ている。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・泊まりで忘年会を開く団体客が年々少なくなっている。個人客もあまり動かないため、インターネットの低価格プランなどによる集客に頼らざるを得ない。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊は市場価格が上がらないため、売上が伸び悩んでいる。アジアからの観光客も戻りつつあるが、前年の水準には至っていない。忘年会時期となった宴会も、企業業績の悪化で数件の自粛が発生したほか、食堂もすべての時間帯で来客数が落ちている。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・依然として海外旅行の申込は前年を上回っているが、国内旅行に勢いが無い。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・通常の年末と比べて、販売量が約3割減少している。
競輪場（職員）	単価の動き	・今月の客単価は10,639円と、3か月前の10,753円に比べてやや下がっている。	

		その他サービス [ビデオ・CD レンタル] (エ リア担当)	販売量の動き	・すべての取扱アイテムで前年割れが続いている。年 末であるにもかかわらず、今年の上半期と比べても厳 しい状況である。
		住宅販売会社 (経営者)	それ以外	・金融機関からの借入れが難しくなっている。業 者向けの用地取得費用の融資はもちろん、消費者向け の住宅ローンも2、3か月前に比べると審査が厳しく なっている。特に、担保評価がかなりシビアである。
	悪く なっている	一般小売店 [珈 琲] (経営者)	販売量の動き	・当社の販売量も減少しているが、同業他社も減少し ている。
		一般小売店 [衣 服] (経営者)	お客様の様子	・年末にもかかわらず、前年以上に消費者の動きが鈍 い。接客をしても、買い控えの動きがみられる。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・高品質の商品を扱っているため、来店客には確実に 良い商品を買ってもらえている。ただし、多くの客は 良い商品であることは分かっているにもかかわらず、買う余裕がない ために来店しなくなっている。
		衣料品専門店 (販売担当)	お客様の様子	・客の間では生活防衛の意識が強まっている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・東日本大震災の影響で、前年よりも忘年会がかなり 減っているほか、新年会の予約もまばらである。特 に、大型ショッピングセンターができてからは、年末 の商店街の人通りも少なくなっている。
企業 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	化学工業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・ここ数年にない年末の忙しさが戻ってきているほ か、会社周辺の道路も混んでいるなど、徐々に景気の 回復が進んでいる。
		金属製品製造業 (管理担当)	受注量や販売量 の動き	・再開発関連の受注が増えているため、休日出勤や残 業などでカバーしている。
		電気機械器具製 造業 (営業担 当)	受注量や販売量 の動き	・少しであるが、売上が増えている。
		その他製造業 [履物] (団体 職員)	受注量や販売量 の動き	・これまで海外生産の靴を扱っていた小売店で、国産 品に切替える動きがみられる。
		金融業 (営業担 当)	取引先の様子	・取引先の受注状況は、3か月前に比べて少し増加傾 向となっている。
		その他サービス 業 [店舗開発] (従業員)	受注量や販売量 の動き	・駅構内の店舗では、業種によって売上の好不調が分 かれている。雑貨関連は依然として低迷しているが、 比較的安価なスイーツを中心に、食品は軒並み好調に 推移している。最近では、客が低価格品を複数購入する 傾向が強まっているため、特に日持ちする商品が売上 をけん引している。
		その他非製造業 [商社] (営業 担当)	受注量や販売量 の動き	・販売価格は低下が続いているが、受注量は増えたい る。
	変わらない	食品製品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・消費が伸びないため、ここ数か月は受注が前年の水 準に届いておらず、食品全体でも売上の悪い状態が続 いている。年末に近づくにつれて荷物は動いている が、月前半の落ち込みをカバーできるほどではない。 例年のように年末の特売が増えても、競争が激しいた め、売上への影響は小さい。
		繊維工業 (団体 職員)	受注量や販売量 の動き	・年末の需要期に入ったが、受注はほぼ前年並みと なっている。
		パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・受注量などに若干の動きはあるが、大きな変化はな い。
		プラスチック製 品製造業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・年末を前に駆け込みの注文が出てきている分、年始 の受注は減ることになる。12～1月を合わせると、ほ ぼ前年並みの見込みで推移している。
		金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・東日本大震災後の減産分を取り戻す動きで、自動車 部品関連の受注が増えており、荷動きがやや活発と なっている。
		一般機械器具製 造業 (設計担 当)	受注量や販売量 の動き	・良くもなく、悪くもない状況となっている。
		電気機械器具製 造業 (経営者)	取引先の様子	・東日本大震災やタイの洪水による影響は、同業者の 間でも差がある。その一方、震災の復興需要が出てき ているが、部品不足で製品が作れないほか、円高によ る企業の海外移転も進んでいる。

	電気機械器具製造業（宣伝担当）	それ以外	・家電量販店への客足が遠のいており、年末商戦も客がかなり少なくなっている。また、今年前半まで市場をけん引していた薄型テレビは、荷動きの鈍化に価格の下落が加わり、厳しい状況が続いている。
	電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・周囲の中古品を扱う会社は、業績が悪化している。
	建設業（経営者）	取引先の様子	・長引く不景気や円高の影響もあり、得意先の設備投資が停滞気味となっている。
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・賞与の支給時期であり、年末も近づいているが、客単価は相変わらず低調である。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・学習機の売行きは良いが、ほかの商品の売行きが落ち込んでいる。
	通信業（管理担当）	それ以外	・通常は景気が良くなるはずのボーナス商戦にも、特に変わった様子がみられない。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・クリスマスや年末商戦を迎えたが、折込件数は10、11月と変わらず、期待したほど伸びていない。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・広告需要については、秋以降、あまり明るい話題がない。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・顧客企業の販売や受注状況は悪化していないが、受注価格が低く、利益が少ないなど、厳しい状況に変化はない。
	経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・製造業の顧客企業では、景気の悪化や円高の継続、タイの洪水などが重なったことで、業況が悪化している。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・統計上は百貨店の売上が前年を上回っているが、当社の顧客である大阪郊外の百貨店をみると、前年を下回る状況が続いている。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・例年、年末には贈与による所有権移転の登記が何件もあったが、今年はほとんどない。
	コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き	・年末特有の動きで見た目は良くなっているが、全体的には数か月前と同じく、厳しい状況である。
	やや悪くなっている	繊維工業（総務担当）	受注量や販売量の動き ・低額品を中心に値引き販売が主流となっており、コスト割れとなる商品も出てきている。個人経営の加工業者では廃業の動きも始めている。
		化学工業（管理担当）	受注量や販売量の動き ・建築、土木関連製品の販売数量が減少している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き ・販売価格に大きな変化はないが、ドル建ての取引は極めて厳しい。また、海外からの引き合いは活発な一方、国内の空洞化のスピードは非常に速い。
		電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き ・年末に向けて受注量が減少してきている。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	取引先の様子 ・円高で低価格の輸入品が多く出回っているため、国産品の取扱が困難になっている。
	悪くなっている	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	受注量や販売量の動き ・円高の影響で業況が悪化している。
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子 ・年度末を控えて、忙しい状況が続いている。派遣社員から紹介予定派遣や正社員に切替える動きが増えているほか、退職する団塊世代の穴を埋める即戦力の人材も必要となっている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き ・過度なリストラで人材不足感が高まっており、IT関連の案件が増えつつある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・有効求人数は米国の大型金融機関が破たんした直後の水準まで回復しているほか、新規求人倍率、有効求人倍率共に、前月に比べて上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き ・求人数は、一般求人の大幅な増加で前年比16%増となっている。ただし、運輸業が65%増、宿泊・飲食業は50%増、物流や建設、製造業は30%増となった一方、サービス業は16%減、卸売・小売業は微減となるなど、産業によって動きに差がみられる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き ・求人案件が増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求人数の動き ・感覚的な景況感は悪化しているが、求人数、求職者数共に前月比でほぼ横ばいとなっている。

	新聞社 [求人広告] (管理担当)	求人数の動き	・当社が扱う求人には、中小企業からのものが多いため、依然として回復の動きはみられない。
	新聞社 [求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・新聞の求人広告は依然として低位安定が続き、パート・アルバイト求人の折込広告も低迷している。新卒求人数にも変化はないが、企業は以前にも増して、優秀な人材の確保に力を入れている。
	新聞社 [求人広告] (担当者)	それ以外	・ここ3か月、新聞広告の動きはほとんど変わらず、前年並みで推移している。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人数の動きは産業や企業規模によって差があるが、全体としては前年比で増加が続いており、大きな変化はみられない。
	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・他業種では求人数の伸びがみられない一方、人手不足の福祉関連からは求人が出ているが、条件のミスマッチで充足できていない。
	民間職業紹介機関 (職員)	求人数の動き	・建設関連の日雇労働市場は、職人の高齢化による人手不足などで、事業所側が仕事量を減らすという悪循環に陥っている。ただし、その一方で有効求人倍率は高くなっている。
	民間職業紹介機関 (支社長)	周辺企業の様子	・企業に来年の採用予定を聞くと、今年並みか、少し抑制するといった声が増えるなど、少し潮目が変わり始めている。
	学校 [大学] (就職担当)	採用者数の動き	・学生の動きが鈍く、内定などの結果が出ない状況が続いている。
やや悪くなっている	求人情報誌製作会社 (企画担当)	求人数の動き	・例年どおり求人数の減少はみられるが、今年は全国以上に減少幅が大きくなっている。
	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・製造業では円高などで生産調整が行われており、求人が減少傾向にある。
悪くなっている	-	-	-